

たかざき
高崎地区

霧島連山から続く山地とその東側に広がる台地が占める高崎地区。北に岩瀬川、東に大淀川が、地区内には大淀川支流の高崎川や炭床川などが流れています。この地区には、市内最大の前方後円墳を含む、たくさんの古墳が残されています。

なへまえ
①鍋前遺跡 (大牟田) 古墳

農地を整備する時に発掘調査を行いました。
古墳時代の集落です。竪穴住居跡 13 軒と土器などが見つかりました。



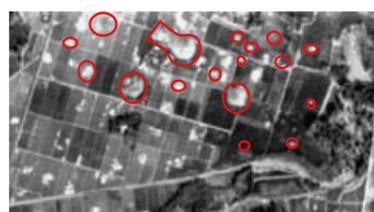
竪穴住居跡



古墳時代の土器
罎: 小さい丸底の壺 (左) と鉢 (右)

たかざきむらこらん
②高崎村古墳群 (江平・縄瀬) 古墳 P1 柱

県の史跡に指定されていて、塚原地区と横谷地区にある古墳の総称です。現在、塚原に 19 基、横谷に 6 基が残されていますが、明治 13 年 (1880) 頃までは塚原だけで 50 基ほどの古墳があったといわれています。塚原にある 1 号墳は、全長約 68 m、高さ約 6 m と市内最大の前方後円墳です。
また、塚原古墳群周辺には、塚原地下式横穴墓群、横谷地区には原村上地下式横穴墓群があります。



塚原古墳群航空写真 (昭和 22 年米軍撮影)

○が古墳



原村上地下式横穴墓出土鉄鏃 (上) 刀子 (左)

こばしょう
③木場城跡 (前田) 中世 柱 駐

林道をつくる時に一部を発掘調査しました。現在は整備され城の空堀などを見ることができます。
また、展望台からは、南西方向に塚原地区の古墳群が一望できます。



観音瀬付近から見上げた木場城跡

木場城跡に残された竪堀 (縦方向に掘られた空堀)

かんのんげ
④観音瀬 (高崎町・高城町) 近世 P1 柱 駐

江戸時代、大きな岩を削って川幅を広げ、船が通れるようになりました。作業は川の水が少ない冬場に行われ、今のように機械もなく、石工などの職人が限られた道具を使って工事を行い、3年の月日がかかりました。

* 寛政 3 年 (1791) ~ 寛政 5 年 (1793)



現在の様子

【そのほかの遺跡と史跡】

縄文時代: 北迫遺跡、海蔵寺遺跡 / 弥生時代: 今村遺跡 / 古墳時代: 栗巢上原遺跡、上野原遺跡
日守・仮屋尾地下式横穴墓群、横尾地下式横穴墓群、宇野原地下式横穴墓群
中世: 高崎城跡、古石塔群、廻国塔 / 近世: 様屋敷遺跡、谷川の田の神 近代: 鳥井原古戦場跡



ほのきの (ふのきの)
⑤朴木遺跡 (江平) 縄文 弥生

ごぼうを植える作業で見つかりました。縄文時代と弥生時代の遺跡です。特に、弥生時代のお墓が 11 基も見つかりました。お墓は、四角く掘った穴に大きな板状の石をかぶせたもので、お墓の中からは土器や磨いた鏃が見つかりました。



大きな石で蓋がされたお墓
約 1 m x 60 cm の大きな石で蓋がされていました。蓋の下には大きな穴が掘られています。



磨製石鏃

左の写真のお墓から 20 点見つかりました。どれも先が折れていたり、刃が欠けていたり、使用したもののばかりでした。

ひらまつ
⑥平松遺跡 (笛水) 縄文

笛水小・中学校の体育館をつくる時に発掘調査を行いました。縄文時代の竪穴住居跡や調理施設である集石や炉穴などとともに、土器や石器がたくさん見つかりました。



↑ 石斧

→ 石鏃



縄文土器



集石